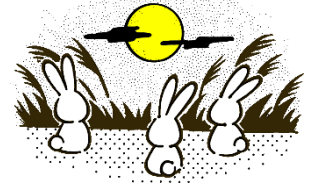


勝負を決める2学期がスタート



約40日間の夏休みが終了し、2学期も3週間が経とうとしています。2学期は1年間の中で最も長く、そして、どの学年にとっても大事な時期となります。

高校1、2年生にとっては、秋に次年度の文理コースや科目選択により進路を方向付けることになる進路選択を行います。また、夏休みの頑張りの成果が出る、そして、今後の進路を左右する模試を受けることとなります。高校3年生にとっては、いよいよ9月～12月にかけて総合型選抜(旧 AO)、学校推薦型選抜などの出願・試験が本格的に始まり、一般選抜受験は秋までには受験校をほぼ決定する時期となります。どの学年にとっても今後の成績、そして人生を左右する大事な学期、それは言い換えればチャンスの学期となります。前向きな気持ちで頑張りましょう。

つい先日文化祭、体育祭がありました。思う存分楽しんだ分、早く生活習慣を見直し、整える必要がありますね。より一層授業に対してしっかりバクトルを向け、素晴らしい2学期になるようにお互いに頑張りましょう。ちなみに、中間テストは10月3日からです。しっかり今から準備をしていきましょう。

飛躍のための模試の活用を！

7月に高校全学年で行われた模擬試験(進研模試)の結果が返却されました。多くの先生から7月模試の重要性について話があったと思いますが、この結果を冷静に受け止めながら、これから何をするかを考えること(戦略を立てること)、そして、それを実行していくことが大切です。結果に一喜一憂しすぎるのは良くありません。特に1、2年生は11月、1月実施の模試で結果を出すために、今回受けた模試をしっかり活用することが大切です。では、模試をどう活用するべきか、以下に例として示します。

①現状を分析する

(1)偏差値よりも素点に注目！

模試の結果では、偏差値や判定に意識がいきがちですが、大事なものは素点です。科目毎・分野毎に自分がどの程度点数をとれているかを、全国平均点との差、分野科目間での凸凹に注目して分析しよう。

(2)弱点を発見しよう！

点数の低い分野に加え、平均点との差が開いている分野は、今後特に力を入れて勉強すべき部分です。足を引っ張る科目は、今後、致命傷になりかねません。得意を伸ばすことも大切ですが、1、2年生はまずは不得意を補強することに意識を向けてください。85点を95点にするより、30点を40点にする方が一般的に実現性は高いのです。またその際、

「偏差値5上げる」と考えるよりも「得点を10点上げる」と考えた方が、目標が明確になります。進研模試の成績票では、偏差値に加えてGTZが表記されます。GTZを一つ上げるのにあと何点必要か、が示されています。その点数を出すためにどの問題を取れるようにすればいいかと考えて問題と答案を見直してください。

②模試を何度も再利用！

とにかく反復練習せよ！模試は、全国での実力を判定するだけではなく、弱点を発見し、知識を定着させるためのものでもあります。返却後、間違った問題に印をし、解説を読んだから自力で解けるようにします。次の模試やテストがある直前に再度問題を解き直し、身につけているか確認します。このように1回の模試を何度も反復することで弱点だった知識がやがて定着していきます。3年生は今後模擬試験が続きますが、これを入試本番まで継続できれば相当な知識が定着できるでしょう。とにかく反復です！



3年生正念場！添削指導を受ける生徒たち

総合型選抜(旧 AO)、学校推薦型選抜などの出願・試験が本格的に始まりました。11月から、特にこうした試験が多くなりますが、試験に向けて進路室、職員室前の廊下では多くの生徒が学習し、科目の添削指導、小論文の添削指導、さらには志願理由書の作成、添削に精を出しています。添削指導を受けることで、できたポイント・そうでないポイントが明確になりますし、指導を繰り返し受けることで、採点者の視点が徐々に養われていきます。「わかったつもり・書けたつもり」から「実際に採点者に伝わる答案」が書けるよう、様々な視点からアドバイスをもらってください。自分では気づかない自分のダメな解答の癖が発見できるかもしれません。農二の教員陣は生徒たちの進路実現を全力でサポートします。がんばれ！3年生！

大学別説明会の実施

夏休み前から、9月にかけて、本校生徒にむけて大学説明会が行われてきました。夏休み前も多くの生徒が進路目標として掲げ日々の学習に取り組んでいる群馬大学や高崎経済大学などの県内国公立大学、また、9月に入ってから私立大学と、本校進路指導部が中心となり、下記の通り、各大学の先生方や入試担当者にお越しいただき、学部・学科の特徴や入試についてお話をいただきました。説明会には、多くの生徒が参加し、熱心に耳を傾け、積極的に質問をするなど、大変有意義な機会となりました。



6月6日(月) 高崎経済大学

7月1日(金) 群馬大学

- 7月 5日(火) 前橋工科大学
- 7月 11日(月) 群馬県立女子大学
- 7月 12日(火) 県立県民健康科学大学
- 9月 6日(火) 日本大学、専修大学、武蔵大学、東海大学
- 9月 7日(水) 東京都市大学、千葉工業大学、東京薬科大学



11月には1年生対象の大学見学も予定しております。大学概要の説明、施設見学を通じて、偏差値や就職率などの数字や、パンフレットに記載されている文字情報だけではわからない『キャンパスの雰囲気』を感じたり、「大学に行く」ということをより具体的にイメージできるかと思えます。こうした学校での行事の機会だけでなく、積極的に大学のオープンキャンパスには参加していきましょう。自分のキャリアを考える上でオープンキャンパスは欠かせません。何事も自分から動かなければ何も変わりません。自分で考えて、行動する！コースは関係なく農大二高生は”行動の人”でありたいものです。



駿台予備学校講師による英語学習法講演会の実施

9月9日(金)に駿台予備学校から増田悟先生をお呼びし、2、3年生の I コースの生徒(1クラスずつ)を対象に「英語学習法講演会」を開催いたしました。生徒たちは熱心に講義に耳を傾け、大きな刺激を受けていた様子でした。授業の中で一つ一つの単語、句、節と真摯に向き合いながら英文読解、英文解釈をしていくことの重要性を学びました。大学受験に向けて、さらなる英語力の向上を期待します。



東京大学の学生団体「Fair Wind」と交流会を開催

8月26日(金)に東京大学の学生団体「Fair Wind」に来校していただき、本校の希望者と東大の学生と交流会を実施いたしました。交流会では、「もう一人じゃない」をテーマに東大生とグループワーク、パネルディスカッションを通して、今後のロードマップ作成を行いました。東大生がどのように受験を突破したか、高校生活にモチベーションをもつてのぞんだかなどの実体験を参考にしながら、最終的に自分自身の方向性の確認まで行うことができました。人数の都合上、1年生はパネルディスカッションのみ参加となりましたが、生徒の一人ひとりが自分事として、真剣に参加していました。もっとも農大二高生が東大に入り、「Fair Wind」のメンバーとして、凱旋来校してほしいと願っています。



Fair Wind の公式サイトはこちらです。→<https://fairwind-ut.com/>